

編輯室內外

歳こゝに改まつて一九三三年を迎へ、本誌も十五の齡を數ふるに至つた。十五年間主張し來つた道路の改良が全國津々浦々に行はれてゐるとき新春を迎ふことは、本誌否な我が路政界に特筆すべく、又其の事業をして有終の美を爲さしむるのも新年に於ける最大の役目であつて、益本誌の活躍を要する歳である。編輯同人の覺悟と用意は此後に於ける本誌に徴されたい。

滿州國家の成立も確定的と爲つて、彼地に於ける道路の改良も本誌の對象物と爲つた、従つて之が對策を論ずるのも新年に於ける本誌の役目である。曩に幹事三浦博士が彼地に於ける道路を視察し、目下之が報告書の作製中であるから不日本誌に之を發表する、之を中心として滿州の道路の改良

策を論じ、新國家の發展に寄與せむことを誓ふ。

萬國道路會議に於ける帝國の意見は、本會から提出することゝ爲つた、行政に技術に各般に亘つて各國に紹介するのである、新年度に於ける本會の使命は頗る重大であつて之を爲し遂げ得ることは編輯同人の欣快とするところ幸に御聲援願ひたい。

理事唐澤内務省土木局長の命を受けて路政僧が筆せんとする、土木懐古誌は我國古代に於ける況ての土木事業や其の施工方法に關する古人の思想を平易に面白く物語つて後世に傳えんとする計畫であつて、言はゞ世人に所謂故人の抱いた土木思想を普及せしめむとする趣旨である。従つて地方幹事諸君に蒐集をお願いした材料も右の趣旨に依つてお集め願ひたいものである。即ち餘りに學術に捉はれないで、通俗のもので結

構である。吾人の此舉をして有意義ならしむべく御援助をお願いする。

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内發行所 社団法人道路改良會
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六發行所 小島 效
編輯者
東京市小石川區諏訪町五六印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武